



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2017-2018年度 第29週報 No. 2012 2018年(平成30年) 2月23日 第2012回 例会記録 3月2日発行

本日〈3月2日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献立 ローストビーフ丼
- ◆ 卓話 「スリランカの水処事情」
 (株)オスモ 代表取締役 野口 武志 様
 (紹介者 矢野 修二 会員)

<< 本日のBGM >>
 アルバム 「camomile Best Audio」 / Emi Fujita より



PHOTO クラブ会報委員会

司会 金森 欣一 副幹事

ビジター紹介 横浜MM21RC 山田 晃久 様

点鐘 矢野 修二 会長

誕生日祝 伊東 英紀 会員 (3月1日)

斉唱 「手に手つないで」「友達になろう」
 ソングリーダー：赤堀 和人 会員

四つのテスト 赤堀 和人 職業奉仕委員長
 (第1例会のみ)

ゲスト紹介 玉谷 悦子 様 (ゲストスピーカー)



2017-2018年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー



ロータリー：
 変化をもたらす

第2590地区 ガバナー 湯川 孝則

会 長	矢野 修二	会 計	白井 康夫
会長エレクト	天野 公史	副 会 計	飯田 泰之
副 会 長	田中 龍太郎	S A A	茂木 知子
副 会 長	河野 明光	副 S A A	加藤 仁昭
幹 事	白鳥 厚夫	副 S A A	森 永 健
副 幹 事	金森 欣一	クラブ会報	長井 章

例会日 毎週金曜日 0:30~1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

入会記念日祝

矢野 修二 会員 (2月23日)



幹事報告

白鳥 厚夫 幹事

- 第4グループ合同観桜会の案内をボックスへ配布致しました。参加をされる方は事務局までお知らせください。
日時 3月31日(土) 12時~14時
場所 横浜ベイシェラトン 会費 1万円
- 次週土曜日、3月3日に第4・第5グループIMが開催されます。大勢のご出席をお願い致します。
場所 横浜市緑区民文化センター(長津田駅徒歩4分)
登録開始 12:00 点鐘 13:00
- 先週、台湾東部で発生した地震による被災地への義援金を募りましたが、本日も募金箱を回覧致します。皆さまご協力のほどよろしくお願い致します。

◎例会変更のお知らせ

- *横浜港北ロータリークラブ
平成30年3月1日(木) ⇒ 3日(土) 移動例会
『IM』
3月8日(木) 夜間例会
3月29日(木) ⇒ 31日(土) 移動例会
『観桜会』
- *横浜日吉ロータリークラブ
平成30年3月28日(水) ⇒ 31日(土) 移動例会
『観桜会』
- *横浜保土ヶ谷ロータリークラブ
平成30年3月6日(火) 夜間例会

出席報告

山田 正憲 出席委員長

会員総数	52名	(34+18)名	
出席会員数	39名	(25+14)名	
出席率	81.25%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	89.36%	前々回補正後	89.80%

スマイルボックス

茂木 知子 SAA

横浜MM21RC 山田晃久様 本日、お世話になります。

伊東英紀君 誕生日祝いを、ありがとうございます。
矢野修二君 ①玉谷様、本日の卓話、楽しみにしております。
②入会記念日のお祝い、ありがとうございます。1996年の2月23日に入会して22年になります。残りの人生、楽しく生きていきたいと思っております。
山本 登君 まだ寒い。フトコロモ・・・。
河野明光君 玉谷悦子様、本日の卓話楽しみです。
加藤仁昭君 平昌オリンピック、メダル最多獲得おめでとう。フィギュアとカーリング、期待しましょう。
白鳥厚夫君 ①玉谷悦子様、本日の卓話、お願いします。②風邪をひいてダウンしています。
茂木知子さん ~100円恵んで~先週の例会の帰り、地下街で普通の身なりの中年男性が近づいてきました。因縁を付けられるのかと思い、恐怖を覚えました。なんと、“100円恵んで下さい”と言われました。私は咄嗟にバッグを取り出しました。男性は100円恵む理由をいろいろ述べていました。私は必死で100円玉を探して300円渡しました。もっと嬉しい声掛けが欲しい。

2月23日	8件	20,000円
本年度累計		1,261,072円

「人と人との出会いに感謝」

司会業 玉谷 悦子 様
(紹介者 河野 明光 会員)



人生最高の晴れ舞台、結婚式！

それは、それぞれ違う人生を歩んできたお二人が、ご縁あって出会い結ばれ、夫婦となる大切なセレモニーです。沢山の方からの祝福に包まれて、生涯忘れられないとても幸せな瞬間となることでしょう。これから季節は暖かな春へ向かい、全国の各会場では満開の笑顔の花が咲きあふれます。本日は、私、司会者が感じる最近の結婚式(披露宴)事情について、お話しさせていただきます。

今は、本当に女性が強い時代になりました。一昔前までは、結婚が決まったら女性は主婦となり、家庭に入って夫を支えるというのが当たり前でしたが、今は女性も自立し、男性と対等に仕事を持って社会で活躍する時代です。それに伴い、相手に求める意識も大分変わりました。とても驚かされるのは、まずお互いの『好きなところ』について、新郎は新婦の「頼れるところ」、新婦は新郎の「可愛いくて、料理が上手なところ」とまるで男女が入れ替わったようなお答えをするカップルが増えたということです。『新生活への抱負』は、新郎は「料理のレパートリーを増やす。なるべく早く帰宅して、イクメンパパになります」となんと可愛らしい回答に対して、新婦は「仕事と家庭、両方キッチリこなす！」など実に頼もしいです。プロポーズに関しましても、最近積極的に女性の方から逆プロポーズして結婚が決まったというカップルも結構多く、また、披露宴に関して『司会者へのご要望』いう欄にこう書く方もいらっしゃいました。「女性が家事を担当するものだという発想・思想=性別役割分担意識を前提としているような進行や質問・言い回しは避けてほしいです」。これはご夫婦共に弁護士さんでしたが、これには今の時代らしくナルホドと思いました。

私が婚礼司会者としてデビューしたのは、約20年前でした。その頃と大きく変わったこととしては、まず招待状が挙げられます。以前は、差出人としてご両家のお父様のお名前が印刷されていましたが、今では新郎新婦お二人のお名前が殆どです。他には、ご媒酌人（お仲人様）に関しましても、その単語すらとうの昔に死語になっているということもあります。今はお二人に尋ねても、反対にその言葉の意味を聞かれてしまいます。そして、自分たちがゲストの皆様をお迎えし、おもてなしをするという考えをしっかりと持ちます。披露宴の最初のご挨拶としてお二人からウェルカムスピーチがあるのも、今の披露宴の特長です。結びのご両家代表謝辞も、昔は新郎のお父様のお役目でしたが、今では新郎ご本人が務められています。実にご立派ですね。

このように一番はお二人らしさを大切に自分の言葉で感謝の気持ちをお伝えになるのが、今の新郎新婦です。時代が変わっても、変わらないのは2時間半の披露宴には感動の涙あり笑いありの真実のドラマが、そこには沢山詰まっています。「披露宴とは疲労宴だね！」なんて昔は主役のお二人も列席者もよく冗談を言っていました。私はこれからも司会者として、人と人との出会いに感謝しながら、お二人の晴れの門出を温かく優しく、そして常にこの仕事に情熱を持って、幸せのお手伝いをさせていきたいと思っています。

ロータリーニュース

RI会長からのメッセージ

2018年1月

多様性はロータリーの強みです。これは、職業分類が提案されたロータリー創成期にさかのぼります。多彩な経歴や能力を

もつ会員が集まるクラブなら、ほかと比べてより優れた奉仕活動が行えるだろうという、とてもシンプルな話です。

以降、ロータリーにおける多様性の概念は、より広義の意味づけがされるようになりました。地域社会を真に反映するクラブのほうが、より一層効果的に地域社会に奉仕することができるということが分かってきたのです。今後も、多様性がロータリーにとって重要であり続けることは一目瞭然です。今日優れた奉仕活動を行うためだけでなく、将来にわたって強力な団体であるために、多様性は重要です。

多様性に関する喫緊の課題として、会員の年齢層の問題が挙げられます。どのようなロータリーイベントでも、参加者の年齢層を見るとロータリーには持続可能な将来がなさそうだということが一目で分かります。会員数の記録は更新され、常に新会員を獲得してはいますが、今後何十年もロータリー活動を続けていけるような若い会員は、そのうちのごく一握りでしかないのです。先々、強力で有能なロータリーのリーダーシップチームを確保するためには、今日、若く有能な会員を獲得しなければなりません。

また、ロータリーの多様性を論じるのであれば、ジェンダーの問題も避けては通れません。わずか30年前に女性がロータリーに入会できなかったというのは、今では想像しがたいことです。それ以降ずいぶん改善されてきたとはいえ、女性の入会を禁止するという誤った規定の負の遺産は消えていません。あまりに多くの人が男性しかロータリーに入れないといまだに思っており、このことは公共イメージにも会員増強にも悪影響を及ぼしています。今日、女性会員はわずか21%強です。これは大きな前進ではありますが、男性会員と同数の女性会員という、世界の男女バランスを反映した、各クラブが目標とするべき到達点にはまだほど遠いと言えます。

入会の動機は人によって違うかもしれませんが、ロータリアンでありつづけるのは、ロータリー会員であることに価値を見出し、ロータリーの奉仕活動が世界にとって価値があると信じているからだと思います。世界のあらゆる局面における多様性を反映したクラブを築きあげることで、変化をもたらすロータリーの永劫に続く価値が築かれるのです。

2018年2月

4名の会員からなるロータリーの最初のクラブが初例会を開催したのは、113年前の今月です。議事録は作成されませんでした。奉仕について話し合われたとは思えません。地域社会のニーズにロータリークラブが力を入れるようになったのは、結成から数年経ってからのことでした。

会場はホテルでもレストランでもなく、会員の職場でした。知られているかぎり、議題も、告知も、委員会報告書も、卓話も、名札もありませんでした。今日の建設的なロータリー例会の基準では、この会合は不合格もいいところでしょう。しかし言うまでもなく、この会合は史上もっとも建設的なロータリー会合となりました。

今日でも、1905年当時と同様に、会員の多くがポール・ハリスの求めた親睦、人脈、くつろげる居場所を求めてロータリーに参加しています。

しかし、ロータリー揺籃期の創立メンバーが受け取ったものとは比較にならないほど多くのものを、ロータリーは今日私たちに与えてくれます。今や120万人以上の会員を擁するロータリーは、仲間のいる少人数のグループだけでなく、多様なクラブや、地域社会、そして世界中において居場所を与えてくれます。何年も昔、あの2月の晩にポール・ハリスが夢見ることは決してできなかったような形で、ロータリーは今日、私たちを結んでいます。世界中どこに行っても自分のクラブのように迎え入れてくれるロータリークラブがあるだけでなく、手を差し伸べる世界中のどの場所でもロータリークラブがあり、変化をもたらすことができるのです。

初例会以降の113年間で、ロータリーは創立メンバーには思いもよらなかったほど大規模で多様な団体になりました。白人男性のみが入会できた団体から、ありとあらゆる背景を持つ女性や男性を歓迎する団体へと変わりました。「超我の奉仕」という標語に示されるように、奉仕を目的とする団体となりました。今では世界を変える力を持つだけでなく、ポリオ撲滅活動により、現にその力を発揮しています。

ロータリーの未来に何が待ち受けているのか、知る人は誰もいません。ポール・ハリスとその友人たちが築き上げた強固な土台をもとにさらなる発展を遂げていくのは、変化をもたらすロータリーを通じて奉仕と友愛のきずなを結び、深めていくのは、私たち一人ひとりにかかっているのです。

2018年3月

ローターアクトが1968年に創設されてから、今月で50年を迎えます。今回はローターアクト特集として、世界中で変化をもたらすローターアクトの活躍に注目してみましょう。

ローターアクト誕生から半世紀、世界は大きく変化しましたが、テクノロジーと情報社会の台頭、教育の普及、インターネットの計り知れない衝撃にもっとも影響を受けているのは若い世代です。ローターアクトの創設時には、10代20代の起業家やCEOというのは想像もつかないものでした。今日、若い世代にはかつてない実行力が備わっています。ロータリーはこれまでになく、若い世代のアイデアや熱意を必要としているのです。

ロータリーは何年もの間、青少年と若い社会人のプログラムを、価値が高く実りの多いプログラムとしてではなく、単にロータリー入会へとつながる前段階として捉え、ローターアクトの価値を見誤っていました。ローターアクトは、ロータリーの奉仕活動における真のパートナーです。

今日、ロータリークラブが存在する世界の国々で、1万を超えるローターアクトクラブがあり、推定25万人のローターアクトが活動しています。彼（女）らのもちうるリソースを鑑みると、ローターアクトが生み出す奉仕の影響力は目を見張るものがあります。平均的なロータリークラブと比べて自由に使える資金ははるかに少なくとも、驚くべき活動成果をあげています。エネルギーとビジョンをもって、ロータリーファミリーと地域社会に貢献しており、高い評価に値するものです。

しかし、ローターアクトを提唱しているロータリークラブは27%で、この割合は長年あまり変動していません。また、ロータリークラブに入会するローターアクトの数はあまりにも少

ないものです。ローターアクト50周年を迎えた今、私は、ローターアクトクラブの提唱と既存クラブとの関係強化を、すべてのロータリークラブに呼びかけます。

定期的な合同会合を計画し、共同プロジェクトを企画しましょう。手助けできることはないか尋ねるだけでなく、どうすれば力を合わせて活動できるか検討するために、ローターアクトに語りかけましょう。ローターアクトとその会員のことを知りましょう。そして、入会を待ち望んでいるロータリークラブがあるということを、すべてのローターアクトに確実に伝えましょう。

ローターアクトはこの半世紀、ロータリアンがロータリーに見出すものと同じ、つまり地域社会との絆と奉仕の意味を見つける術を青少年に教えてきました。ローターアクトは、今日のロータリーを築く一端を担いつつ、将来のロータリーへの架け橋となります。

イアン H. S. ライズリー

2017-18年度会長

我が街「神奈川」散策（第24回）

クラブ会報委員会

■高島山公園

三宝寺の先の右手に高島山公園があります。高島嘉右衛門は、鉄道用地の埋め立てに尽力した経営者で、高島易断を創始したことでも有名な人物です。彼はこの丘の上から埋め立てを指揮し、後年この地に住んだため、埋立地は高島町、この丘は高島山と呼ばれるようになりました。現在の高島山公園には、嘉右衛門を顕彰する「望欣台の碑」が、そのすぐ西の住宅地には「高島易断の碑」が立っています。

また、神奈川県私学会館の横にかえもん公園が新たに造られ、高島嘉右衛門に関するガイドパネルが設けられています。



次回〈3月9日〉の予定

テーマ 「共に学ぶ教育」

神奈川大学特別招聘教授 浅野 史郎 様

(紹介者 古澤 一憲 会員)